

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年4月5日 (2012.4.5)

【公開番号】特開2010-191686(P2010-191686A)

【公開日】平成22年9月2日 (2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-035

【出願番号】特願2009-35400(P2009-35400)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 5 0 0 A

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月17日 (2012.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像処理装置であって、

外部装置に対して、当該外部装置に記憶されている情報の出力を要求する要求手段と、  
前記要求手段による要求に対する前記外部装置からの応答に基づいて、当該外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であるか否かを判別する判別手段と、

前記判別手段による判別の結果、前記外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であると判別された場合に、前記外部装置から出力される情報を前記画像処理装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段をユーザに提示する提示手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記設定指示手段を用いて、前記外部装置から出力される情報を前記画像処理装置の設定情報として設定することがユーザにより指示された場合に、前記情報に従って前記画像処理装置を動作させるべく、前記外部装置から前記情報を受信し、当該受信した情報を前記画像処理装置の設定情報として設定する設定手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記提示手段は、前記設定指示手段を含む操作画面を前記画像処理装置の表示部に表示させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記操作画面には、前記外部装置から出力される情報を前記画像処理装置の設定情報として設定することなく前記画像処理装置の記憶部に保存させることを指示するための保存

指示手段が更に含まれることを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記画像処理装置の動作モードとして第 1 のモードまたは第 2 のモードを選択する選択手段を更に備え、

前記判別手段による判別の結果、前記外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であると判別された場合において、前記選択手段により前記第 1 のモードが選択されている場合は、前記提示手段が前記設定指示手段の提示を行い、前記選択手段により前記第 2 のモードが選択されている場合は、前記提示手段による前記設定指示手段の提示を行うことなく、前記設定手段が前記設定を行うことを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記画像処理装置は、ウェブブラウザを備え、

前記要求手段は、前記外部装置により提供される HTML ファイルに基づいて前記ウェブブラウザが表示した画面を介して入力される指示に従って、前記情報の出力を要求することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

サーバ装置であって、

クライアント装置から、前記サーバ装置に記憶されている情報の出力要求を受け付ける受付手段と、

前記受付手段が前記情報の出力要求を受け付けた場合に、当該出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段による判定の結果、前記出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であると判定された場合に、前記サーバ装置が出力する情報を前記クライアント装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段を含む操作画面を前記クライアント装置の表示部に表示させるための画面情報を、前記クライアント装置に対して送信する送信手段と、

を備えることを特徴とするサーバ装置。

【請求項 8】

前記操作画面には、前記サーバ装置から出力される情報を前記クライアント装置の設定情報として設定することなく前記クライアント装置の記憶部に保存させることを指示するための保存指示手段が更に含まれることを特徴とする請求項 7 に記載のサーバ装置。

【請求項 9】

前記サーバ装置は、ウェブサーバを備え、

前記送信手段は、前記クライアント装置のウェブブラウザに前記操作画面を表示させるための前記画面情報として、HTML ファイルを送信することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載のサーバ装置。

【請求項 10】

画像処理装置の制御方法であって、

外部装置に対して、当該外部装置に記憶されている情報の出力を要求する要求工程と、  
前記要求工程における要求に対する前記外部装置からの応答に基づいて、当該外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であるか否かを判別する判別工程と、

前記判別工程における判別の結果、前記外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であると判別された場合に、前記外部装置から出力される情報を前記画像処理装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段をユーザに提示する提示工程と、

を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 11】

サーバ装置の制御方法であって、

クライアント装置から、前記サーバ装置に記憶されている情報の出力要求を受け付ける

受付工程と、

前記受付工程で前記情報の出力要求を受け付けた場合に、当該出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であるか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程における判定の結果、前記出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であると判定された場合に、前記サーバ装置が出力する情報を前記クライアント装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段を含む操作画面を前記クライアント装置の表示部に表示させるための画面情報を、前記クライアント装置に対して送信する送信工程と、

を備えることを特徴とするサーバ装置の制御方法。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の画像処理装置の制御方法または請求項 11 に記載のサーバ装置の制御方法をコンピュータに実行させるための コンピュータで読み取り可能なプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、外部装置に記憶されている情報の出力を要求する画像処理装置及びその制御方法、クライアント装置 クライアント装置から情報の出力要求を受け付けるサーバ装置 及びその制御方法、並びに前記制御方法を実現するためのプログラムに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理装置は、画像処理装置であって、外部装置に対して、当該外部装置に記憶されている情報の出力を要求する要求手段と、前記要求手段による要求に対する前記外部装置からの応答に基づいて、当該外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であるか否かを判別する判別手段と、前記判別手段による判別の結果、前記外部装置から出力される情報が前記画像処理装置の設定情報として設定可能な情報であると判別された場合に、前記外部装置から出力される情報を前記画像処理装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段をユーザに提示する提示手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明のサーバ装置は、サーバ装置であって、クライアント装置から、前記サーバ装置に記憶されている情報の出力要求を受け付ける受付手段と、前記受付手段が前記情報の出力要求を受け付けた場合に、当該出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段による判定の結果、前記出力要求を行ったクライアント装置が特定のクライアント装置であると判定された場合に、前記サーバ装置が出力する情報を前記クライアント装置の設定情報として設定することを指示するための設定指示手段を含む操作画面を前記クライアント装置の表示部に表示させるための画面情報を、前記クライアント装置に対して送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

